

メイラ Ankle locking plate system

Salus Loc Tibia medial
(内側設置タイプ)



Salus Loc Tibia anterolateral
(前外側設置タイプ)



Salus Loc Tibia medial Salus Loc Tibia anterolateral

承認番号: 30100BZX00147000

販売名: メイラ Ankle locking plate system

メイラ Ankle locking plate system

Salus Loc Tibia medial と Salus Loc Tibia anterolateral は
脛骨遠位端(果部)骨折及びこれを含む脛骨骨幹部骨折の治療を目的とした
ロッキングプレートです。



Salus Loc Tibia medial

Plate Design of Salus Loc Tibia Medial

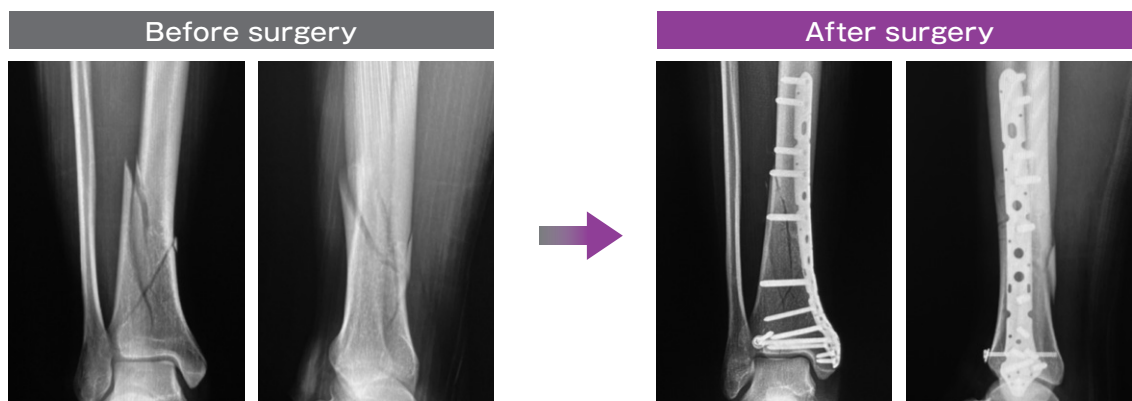
■プレートのホール構成

Salus Loc Tibia medial はプレート遠位端より45mm
以内に3.5mm径スクリューを最大8本挿入可能です。
また骨幹部には4.5mm径スクリューを採用することで
強固な固定が可能です。



Case report using Salus Loc Tibia Medial

画像提供:福岡徳洲会病院 整形外科



Salus Loc Tibia medial は内側タイプ、
Salus Loc Tibia anterolateral は前外側タイプとなり、
症例に合わせて選択することが可能です。



Salus Loc Tibia anterolateral

Plate Design of Salus Loc Tibia anterolateral

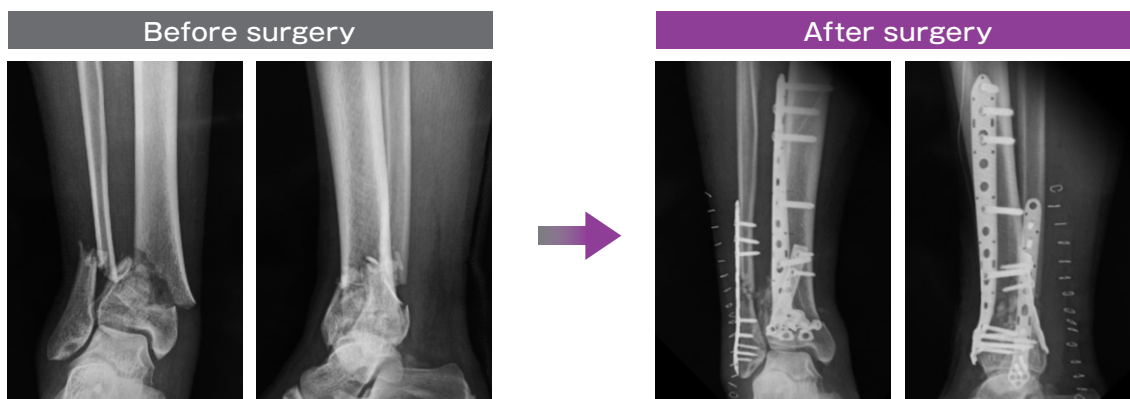
■プレートのホール構成

Salus Loc Tibia anterolateral はプレート遠位端より25mm以内に3.5mm径スクリューを最大9本挿入可能です。またタブ部分は骨形状に合わせてベンディングが可能です。



Case report using Salus Loc Tibia anterolateral

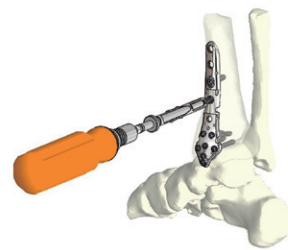
画像提供: 福岡青洲会病院 整形外科



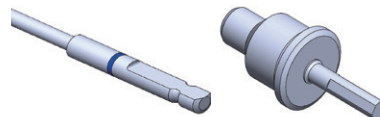
Instruments

スクリューに応じて手術器械にカラーリングを施しており、術中のスムーズな操作をアシストします。

- ・ 4.5mmノンロックングコーティカルスクリュー / 4.5mmロックングコーティカルスクリュー： **橙色**
- ・ 3.5mmノンロックングコーティカルスクリュー / 3.5mmロックングコーティカルスクリュー： **青色**

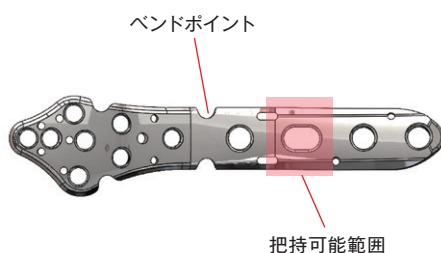


ドリル後端形状をワンタッチ仕様にしたことでスムーズな着脱が可能です。従来のヤコブスチャックにも対応できるチャックアダプターも標準装備しています。



ベンダー（可動タイプ/550B-013）

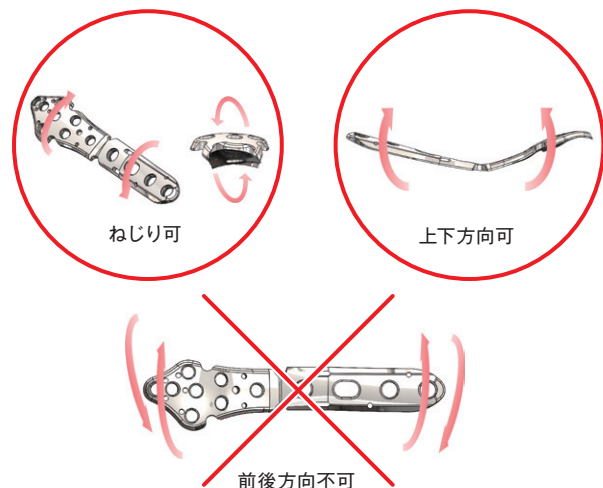
Salus Loc Tibia medial / anterolateral はベンドポイントにて骨に密着可能なベンディング操作が専用ベンダーにて実施できます。



※内部にはバネ機構を搭載しています。

プレートベンディング時の注意事項

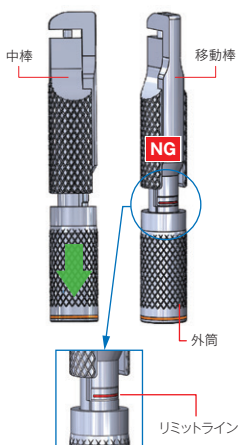
- 注意：**プレートを曲げる方向に注意してください。
注意：把持可能範囲に注意してベンドしてください。スクリューホールに変形が起き、ロックングできない等の不具合が生じることがあります。



Salus Loc Tibia medial / anterolateral ベンディング方法

↑ 動作に付随して動く ↑ 手で動かす

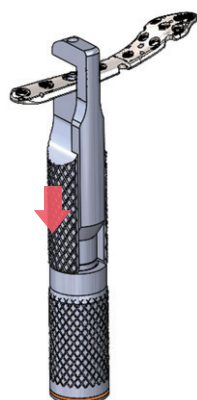
- ① 外筒を反時計回りに回して、ロックを解除します。
注意：リミットラインより下まで外筒を回すとベンダーが分解してしまいます。



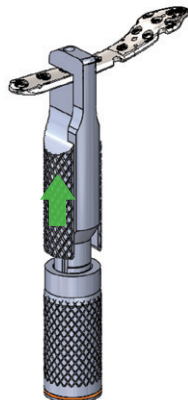
- ② 中棒を矢印方向にスライドさせ把持部を開口します。



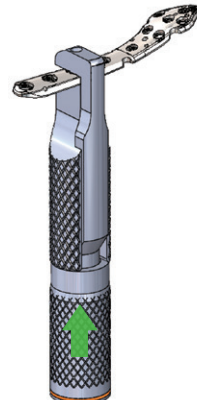
- ③ ②の状態では把持部にプレートを装着します。その際、中棒の突起をプレートの長穴に通します。
注意：固定する長穴は図に示す位置で、どちらも固定可能です。



- ④ 中棒から手を放すと、ばねの力で、中棒が矢印方向に移動し、プレートが仮固定されます。



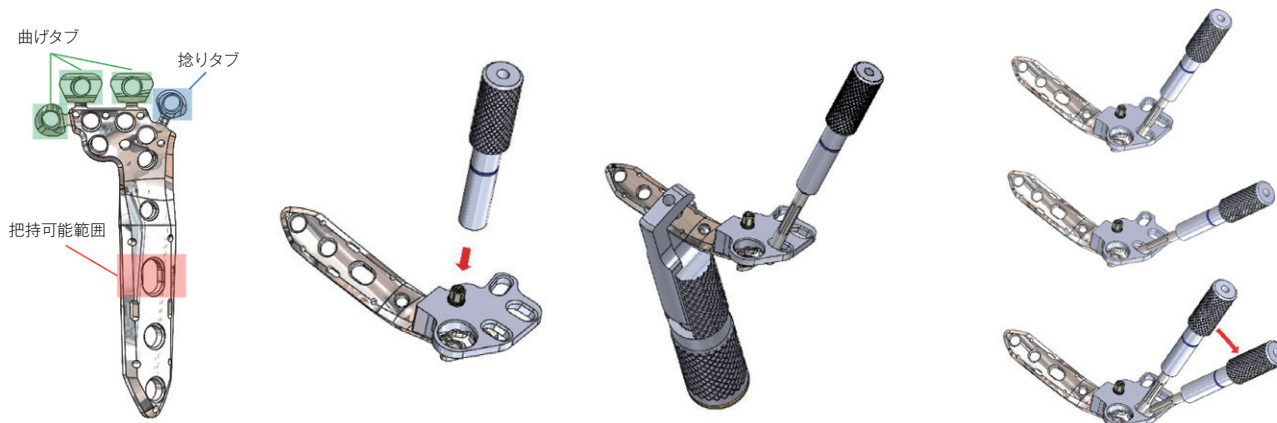
- ⑤ 外筒を時計回りに回して、プレートを完全に固定します。



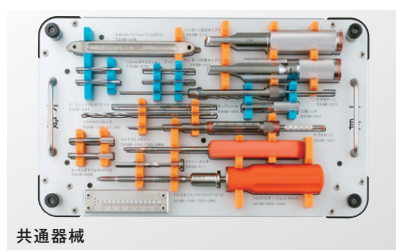
- ⑥ ベンダー（固定タイプ/550B-012）の溝をプレートに挿し込み、ベンドポイントにて曲げてください。



Salus Loc Tibia anterolateral タブのベンディング



手術器械セット



共通器械



medial専用手術器械 (左右別セット)



anterolateral専用手術器械 (左右別セット)

共通器械

名 称	カタログ番号	セット入り数
ドリル	500B-204-37150	2
トルクスドライバー	503B-005-T20-ORN	1
トルクスソリッドドライバービット	503B-105-T20-ORN	1
トルクミレーションドライバー	503B-500-040	1
デブスゲージ	550B-003	1
デブスゲージ	550B-004	1
タップシャフト	550B-005	1
ガイド	550B-006	1
ロッキングドリルガイド	550B-007	3
ロッキングドリルガイド	550B-008	3
六角レンチ	550B-009	1
ガイドピンスリーブ	550B-010	3
スクリューホルダー	550B-011	1
ペンダー (固定タイプ)	550B-012	1
ペンダー (可動タイプ)	550B-013	1

販 売 名: Salus Loc Tibia 手術器械セット
届出番号: 21B1X00003000324

medial専用手術器械

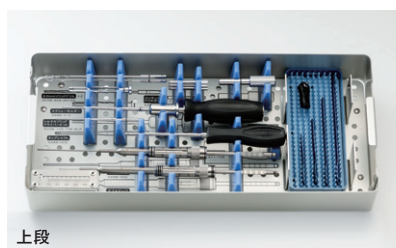
名 称	カタログ番号	セット入り数
ターゲットデバイス	550B-001L	1
テンプレート	071B-003-005L	1
テンプレート	071B-003-008L	1
テンプレート	071B-003-011L	1
ターゲットデバイス	550B-001R	1
テンプレート	071B-003-005R	1
テンプレート	071B-003-008R	1
テンプレート	071B-003-011R	1

anterolateral専用手術器械

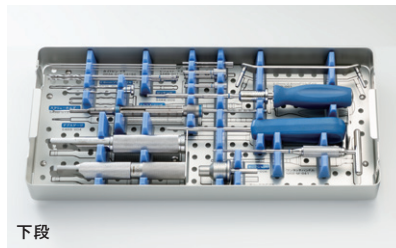
名 称	カタログ番号	セット入り数
ターゲットデバイス	550B-002L	1
ベンドレンジリミッター	550B-015L	1
テンプレート	071B-004-004L	1
テンプレート	071B-004-010L	1
ターゲットデバイス	550B-002R	1
ベンドレンジリミッター	550B-015R	1
テンプレート	071B-004-004R	1
テンプレート	071B-004-010R	1

■ Salus Loc Tibiaをご使用の際、Salus Loc Fibulaの手術器械セットも必ずご準備ください。

(3.5mm径のスクリューを挿入する際に使用するため)



上段



下段

販 売 名: Salus Loc Fibula 手術器械セット
届出番号: 21B1X00003000314

上段

名 称	カタログ番号	セット入り数
ターゲットデバイス* ¹	548B-001	1
テンプレート* ¹	071B-001-004	1
テンプレート* ¹	071B-001-006	1
テンプレート* ¹	071B-001-009	1
テンプレート* ¹	071B-001-012	1
テンプレート* ²	071B-002-005	1
テンプレート* ²	071B-002-007	1
テンプレート* ²	071B-002-009	1
ドリル	500B-204-20140	2
トルクスモールドライバー	503B-012-T08	1
トルクスソリッドドライバービット	503B-105-T08-BLK	1
トルクリミテーションショドドライバー	503B-500-010	1
デブスゲージ	548B-002	1
デブスゲージ	548B-003	1
タップシャフト	548B-005	1
ロッキングドリルガイド	548B-008	3
六角レンチ	548B-010	1
スクリューホルダー	548B-012	1

*1: Salus Loc Fibula lateral専用手術器械です。

*2: Salus Loc Fibula posterolateral専用手術器械です。

下段

名 称	カタログ番号	セット入り数
ガイドピン	003A-015-16150	3
ドリル	500B-204-28150	2
トルクスドライバー	503B-005-T15-BLU	1
トルクスソリッドドライバービット	503B-105-T15-BLU	1
トルクミレーションドライバー	503B-500-020	1
デブスゲージ	548B-004	1
タップシャフト	548B-006	1
ガイド	548B-007	1
ロッキングドリルガイド	548B-009	3
ガイドピンスリーブ	548B-011	2
スクリューホルダー	548B-013	1
ペンダー (固定タイプ)	548B-015	1
ペンダー (可動タイプ)	548B-016	1
ワンタッチハンドル	NRS-M-041	1
チャックアダプター	NRS-M-056	1

オプション

名 称	カタログ番号	セット入り数
ドリル	500B-204-35145	1
ラグスクリュー法用ガイド	548B-014	1

Salus Loc Tibia medial Surgical Technique

① プレート形状の確認

骨折を可能な限り整復し、テンプレートにて適切なプレート長を確認してください。また、図のようにテンプレートの近位ホールにロックングドリルガイド(識別色:オレンジ/550B-008)を取り付け、取手として使用してください。



② ターゲットデバイスの装着

プレートをパッケージより取り出し、図のようにターゲットデバイスを取り付けてください。取り付けには、六角レンチを使用してください。なお、この製品は長穴を除く全てのスクリーホールがロックングホールになっています。遠位部のロックングホールには3.5mm径のスクリーが挿入可能です。近位部のロックングホールには4.5mm径のスクリーが挿入可能です。

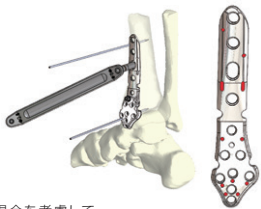


③ プレートの固定

① スクリューホールの作製

適切な位置にプレートを設置し、必要に応じて1.6mmガイドピンにてプレート仮固定を行います。長穴にドリルガイドおよび3.7mmドリル(識別色:オレンジ/500B-204-37150)を用いて、スクリーホールを作製してください。

注意: プレート位置の微調整を行う場合を考慮して、長穴の中心へスクリーホールを作製してください。



② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:オレンジ/フックタイプ/550B-004)にてスクリー長の計測を行ってください。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコートカルによる固定(4.5mmノンロックングコーティカルスクリー使用)を推奨します。

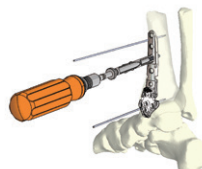
注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリーを使用することで、反対側へのスクリー突出を抑えることができます。



③ スクリューの挿入

測定した値より所定の4.5mmノンロックングコーティカルスクリーを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:オレンジ/503B-500-040)にて挿入を行ってください。

注意: 骨が硬いためドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行ったうえで再度、スクリー挿入を行ってください。



④ 遠位部の固定

① スクリューホールの作製

ターゲットデバイス越しにロックングドリルガイド(識別色:ブルー/548B-007)を取り付けます。その後2.8mmドリル(識別色:ブルー/500B-204-28150)を用いてスクリーホールを作製してください。



② スクリュー長の測定

ロックングドリルガイド越しにデプスゲージ(識別色:ブルー/ストレートタイプ/550B-003)にてスクリー長の計測を行ってください。

注意: バイコートカルで測定する場合に、デプスゲージ(識別色:ブルー/フックタイプ/548B-004)を用い、ロックングドリルガイドを外して計測を行ってください。



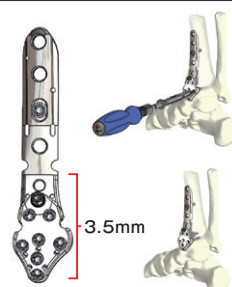
③ スクリューの締結

測定した値より所定の3.5mmロックングスクリーを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:ブルー/503B-500-020)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回してください(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリーホールについても同様の操作にて固定してください。スクリー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認してください。

注意: 右図のIで示す範囲のホールは3.5mm径のスクリーを挿入するため、青色の識別色がついたロックングドリルガイド、ドリルおよびドライバーをご使用ください。

ロックングスクリーの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用ください

オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合 ●オーバートルクの場合: ロックング機構の破壊および、抜去困難例の発生
●トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生



⑤ 近位部の固定

遠位部を固定後、ターゲットデバイスを六角レンチもしくはT15トルクスドライバーを使用して、プレートから取り外します。

■ノンロックングスクリーを用いて固定する場合

① スクリューホールの作製

ドリルガイドおよび3.7mmドリル(識別色:オレンジ)を用いて、スクリーホールを作製してください。



② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:オレンジ/フックタイプ/550B-004)にてスクリー長の計測を行ってください。



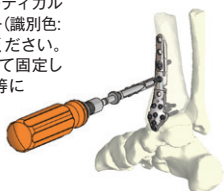
注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコートカルによる固定(4.5mmノンロックングコーティカルスクリー使用)を推奨します。

注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリーを使用することで、反対側へのスクリー突出を抑えることができます。

③ スクリューの挿入

測定した値より所定の4.5mmノンロックングコーティカルスクリーを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:オレンジ/503B-500-040)にて挿入を行ってください。残りのスクリーホールについても同様の操作にて固定してください。スクリー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認してください。

注意: 骨が硬いためドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行ったうえで再度、スクリー挿入を行ってください。



■ロックングスクリーを用いて固定する場合

① スクリューホールの作製

ロックングドリルガイド(識別色:オレンジ/550B-008)を図のように取り付け、3.7mmドリル(識別色:オレンジ)を用いてスクリーホールを作製してください。



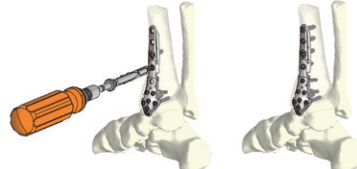
② スクリュー長の測定

ロックングドリルガイドを外し、デプスゲージ(識別色:オレンジ/フックタイプ/550B-004)にてスクリー長の計測を行ってください。



③ スクリューの締結

測定した値より所定の4.5mmロックングコーティカルスクリーを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:オレンジ/503B-500-040)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回してください(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリーホールについても同様の操作にて固定してください。スクリー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認してください。



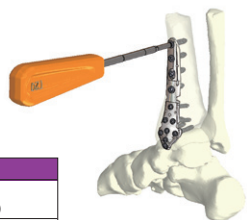
ロックングスクリーの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用ください

オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合 ●オーバートルクの場合: ロックング機構の破壊および、抜去困難例の発生
●トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生

⑥ プレートの抜去方法

① スクリューの抜去について

スクリーを抜去を行う際には、必ず抜去専用ドライバーを用いて抜去を行ってください。スクリーとドライバーの関係は表の通りです。



使用箇所	スクリー径	抜去用ドライバー
遠位部	3.5mm	トルクスドライバー (識別色:ブルー/503B-005-T15-BLU)
近位部	4.5mm	トルクスドライバー (識別色:オレンジ/503B-005-T20-ORN)

注意: 抜去の際は、遠位の3.5mmロックングスクリーによるプレート拘束力を除去するため、必ず近位のスクリーより抜去を開始し、近位部の抜去後、遠位部の抜去を行ってください。

注意: トルクリミテーション機構は正回転時のみ正確な値を示すように調整されており、逆回転には対応していません。このため、トルクリミテーションドライバーを抜去に用いた場合、故障の原因となります。

② プレートの抜去について

スクリーを全て抜去した後、プレートを骨面より取り去ってください。



Salus Loc Tibia anterolateral Surgical Technique

①プレート形状の確認

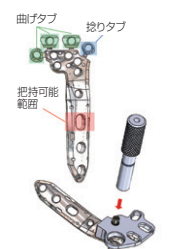
骨折を可能な限り整復し、テンプレートにて適切なプレート長を確認してください。また、図のようにテンプレートの近位ホールにロックングドリルガイド(識別色:オレンジ/550B-008)を取り付け、取手として使用してください。



②タブをベンディングする場合

①ベンドレンジリミッターの装着

本品の遠位部に六角レンチを用いてターゲットデバイスを装着してください。



②タブをベンディング

六角レンチにロックングドリルガイド(識別色:ブルー/548B-007)を装着した状態で遠位部にロックングドリルガイドを装着します。ベンダーでプレートを把持し、六角レンチを持ち手としてベンディングを行ってください。

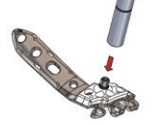


注意: ベンドする際には必ずベンドレンジリミッターをご使用ください。
注意: ベンディングは繰り返し行わないようにしてください。プレートの強度を低下させ折損する可能性があります。万一、プレートにひび割れ等異常が発生した場合は、使用しないでください。

注意: ロックングドリルガイドが正しく装着されていない状態でベンディングを行うとロックング部が破損する可能性があります。
注意: 遠位部にベンディングを加えた際にはスクリュー同士が干渉する可能性があります。

③ターゲットデバイスの装着

プレートをパッケージより取り出し、図のようにターゲットデバイスを取り付けてください。取り付けには、六角レンチを使用してください。なお、この製品は長穴を除く全てのスクリューホールがロックングホールになっています。遠位部のロックングホールには3.5mm径のスクリューが挿入可能です。近位部のロックングホールには4.5mm径のスクリューが挿入可能です。



④プレートの固定

①スクリューホールの作製

適切な位置にプレートを設置し、必要に応じて1.6mmガイドピンにてプレート仮固定を行います。長穴にドリルガイドおよび3.7mmドリル(識別色:オレンジ/500B-204-37150)を用いて、スクリューホールを作製してください。

注意: プレート位置の微調整を行う場合を考慮して、長穴の中心へスクリューホールを作製してください。



②スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:オレンジ/フックタイプ/550B-004)にてスクリュー長の計測を行ってください。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコーティカルによる固定(4.5mmノンロックングコーティカルスクリュー使用)を推奨します。

注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリューを使用することで、反対側のスクリュー突出を抑えることができます。



③スクリューの挿入

測定した値より所定の4.5mmノンロックングコーティカルスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:オレンジ/503B-500-040)にて挿入を行ってください。

注意: 骨が硬いためドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行ったうえで再度、スクリュー挿入を行ってください。



⑤遠位部の固定

①スクリューホールの作製

ターゲットデバイス越しにロックングドリルガイド(識別色:ブルー/548B-007)を取り付けます。その後2.8mmドリル(識別色:ブルー/500B-204-28150)を用いてスクリューホールを作製してください。



②スクリュー長の測定

ロックングドリルガイド越しにデプスゲージ(識別色:ブルー/ストレートタイプ/550B-003)にてスクリュー長の計測を行ってください。

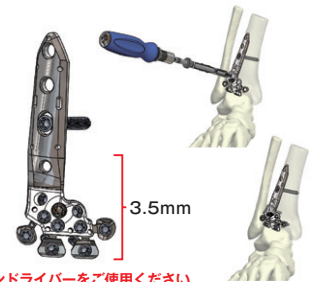
注意: バイコーティカルで測定する場合には、デプスゲージ(識別色:ブルー/フックタイプ/548B-004)を用い、ロックングドリルガイドを外して計測を行ってください。



③スクリューの締結

測定した値より所定の3.5mmロックングスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:ブルー/503B-500-020)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回してください(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリューホールについても同様の操作にて固定してください。スクリュー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認してください。

注意: 右図のIで示す範囲のホールは3.5mm径のスクリューを挿入するため、青色の識別色がついたロックングドリルガイド、ドリルおよびドライバーをご使用ください。



ロックングスクリューの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用ください

オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合 ●オーバートルクの場合: ロックング機構の破壊および、抜去困難例の発生
●トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生

⑥近位部の固定

遠位部を固定後、ターゲットデバイスを六角レンチもしくはT15トルクスドライバーを使用して、プレートから取り外します。

■ノンロックングスクリューを用いて固定する場合

①スクリューホールの作製

ドリルガイドおよび3.7mmドリル(識別色:オレンジ)を用いて、スクリューホールを作製してください。



②スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:オレンジ/フックタイプ/550B-004)にてスクリュー長の計測を行ってください。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコーティカルによる固定(4.5mmノンロックングコーティカルスクリュー使用)を推奨します。
注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリューを使用することで、反対側のスクリュー突出を抑えることができます。



③スクリューの挿入

測定した値より所定の4.5mmノンロックングコーティカルスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:オレンジ/503B-500-040)にて挿入を行ってください。残りのスクリューホールについても同様の操作にて固定してください。スクリュー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認してください。

注意: 骨が硬いためドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行ったうえで再度、スクリュー挿入を行ってください。



■ロックングスクリューを用いて固定する場合

①スクリューホールの作製

ロックングドリルガイド(識別色:オレンジ/550B-008)を図のように取り付け、3.7mmドリル(識別色:オレンジ)を用いてスクリューホールを作製してください。



②スクリュー長の測定

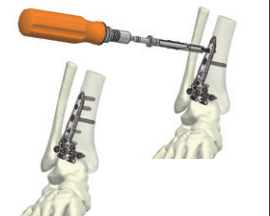
ロックングドリルガイドを外し、デプスゲージ(識別色:オレンジ/フックタイプ/550B-004)にてスクリュー長の計測を行ってください。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコーティカルによる固定(4.5mmノンロックングコーティカルスクリュー使用)を推奨します。



③スクリューの締結

測定した値より所定の4.5mmロックングコーティカルスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:オレンジ/503B-500-040)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回してください(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリューホールについても同様の操作にて固定してください。スクリュー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認してください。



ロックングスクリューの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用ください

オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合 ●オーバートルクの場合: ロックング機構の破壊および、抜去困難例の発生
●トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生

⑦プレートの抜去方法

①スクリューの抜去について

スクリューの抜去を行う際には、必ず抜去専用ドライバーを用いて抜去を行ってください。スクリューとドライバーの関係は表の通りです。

使用箇所	スクリュー径	抜去用ドライバー
遠位部	3.5mm	トルクスドライバー (識別色:ブルー/503B-005-T15-BLU)
近位部	4.5mm	トルクスドライバー (識別色:オレンジ/503B-005-T20-ORN)



注意: 抜去の際は、遠位の3.5mmロックングスクリューによるプレート拘束力を除去するため、必ず近位のスクリューより抜去を開始し、近位部の抜去後、遠位部の抜去を行ってください。

注意: トルクリミテーション機構は正回転時のみ正確な値を示すように調整されており、逆回転には対応していません。このため、トルクリミテーションドライバーを抜去到用した場合、故障の原因となります。

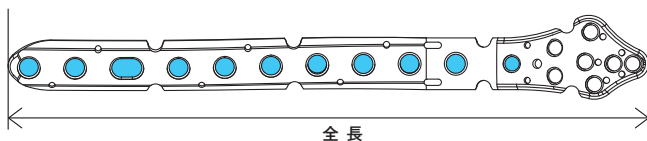
②プレートの抜去について

スクリューを全て抜去した後、プレートを骨面より取り去ってください。



Ordering Information

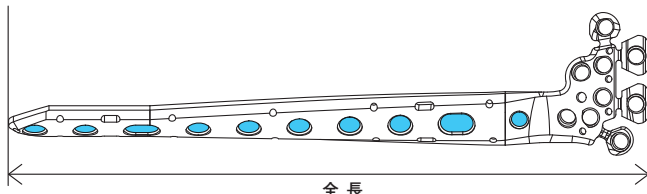
Salus Loc Tibia medial



※青色箇所が穴数になります。(図は11穴)

方向	穴数	全長	カタログ番号
右	5穴	98.2mm	M071A-003-005R
	8穴	135.8mm	M071A-003-008R
	11穴	173.3mm	M071A-003-011R
左	5穴	98.2mm	M071A-003-005L
	8穴	135.8mm	M071A-003-008L
	11穴	173.3mm	M071A-003-011L

Salus Loc Tibia anterolateral



※青色箇所が穴数になります。(図は10穴)

方向	穴数	全長	カタログ番号
右	4穴	80.5mm	M071A-004-004R
	10穴	158.5mm	M071A-004-010R
左	4穴	80.5mm	M071A-004-004L
	10穴	158.5mm	M071A-004-010L

Screw (滅菌)

- 各スクリューケースとパッケージには識別しやすいカラーコードと識別マークを採用しました。
- スクリューヘッドはトルクス形状です。



3.5mmノンロッキングコーティカルスクリュー



3.5mmロッキングコーティカルスクリュー



4.5mmノンロッキングコーティカルスクリュー



4.5mmロッキングコーティカルスクリュー

全長	カタログ番号	セット入り数
12mm	M071A-035-012	2
14mm	M071A-035-014	2
16mm	M071A-035-016	2
18mm	M071A-035-018	2
20mm	M071A-035-020	2
22mm	M071A-035-022	2
24mm	M071A-035-024	2
26mm	M071A-035-026	2
28mm	M071A-035-028	2
30mm	M071A-035-030	2
32mm	M071A-035-032	2
34mm	M071A-035-034	2
36mm	M071A-035-036	2
38mm	M071A-035-038	2
40mm	M071A-035-040	2
42mm	M071A-035-042	2
44mm	M071A-035-044	2
46mm	M071A-035-046	2
48mm	M071A-035-048	2
50mm	M071A-035-050	2

全長	カタログ番号	セット入り数
10mm	M071A-135-010	2
12mm	M071A-135-012	2
14mm	M071A-135-014	2
16mm	M071A-135-016	2
18mm	M071A-135-018	2
20mm	M071A-135-020	4
22mm	M071A-135-022	4
24mm	M071A-135-024	4
26mm	M071A-135-026	4
28mm	M071A-135-028	4
30mm	M071A-135-030	4
32mm	M071A-135-032	4
34mm	M071A-135-034	4
36mm	M071A-135-036	4
38mm	M071A-135-038	4
40mm	M071A-135-040	4
42mm	M071A-135-042	3
44mm	M071A-135-044	3
46mm	M071A-135-046	3
48mm	M071A-135-048	3
50mm	M071A-135-050	2
55mm	M071A-135-055	2
60mm	M071A-135-060	2

全長	カタログ番号	セット入り数
12mm	M071A-045-012	2
14mm	M071A-045-014	2
16mm	M071A-045-016	2
18mm	M071A-045-018	2
20mm	M071A-045-020	4
22mm	M071A-045-022	4
24mm	M071A-045-024	4
26mm	M071A-045-026	4
28mm	M071A-045-028	4
30mm	M071A-045-030	4
32mm	M071A-045-032	3
34mm	M071A-045-034	3
36mm	M071A-045-036	2
38mm	M071A-045-038	2
40mm	M071A-045-040	2

全長	カタログ番号	セット入り数
12mm	M071A-145-012	2
14mm	M071A-145-014	2
16mm	M071A-145-016	2
18mm	M071A-145-018	2
20mm	M071A-145-020	4
22mm	M071A-145-022	4
24mm	M071A-145-024	4
26mm	M071A-145-026	4
28mm	M071A-145-028	4
30mm	M071A-145-030	4
32mm	M071A-145-032	3
34mm	M071A-145-034	3
36mm	M071A-145-036	2
38mm	M071A-145-038	2
40mm	M071A-145-040	2

販売名: メイラ Ankle locking plate system
承認番号: 30100BZX00147000

2024年10月 ver.1

製造販売業者



株式会社

TEL 0575-24-7059

製造業者
問い合わせ先

メイラ株式会社

メイラ株式会社 メディカル事業部 業務グループ TEL 052-459-1277 (直通) / FAX 052-459-1282